

# 本巣市商工会経営発達支援事業<地域の経済動向調査>No.10

本レポートは、経済産業大臣の認定を受けた経営発達支援計画に基づき作成・発刊いたします。主に小規模事業者の「販路開拓」に対する現状の取組みと課題について、又、国・県・商工会の「販路開拓」に向けた支援について掲載しています。掲載内容についての詳しい内容、具体的な活用方法等につきましては、本巣市商工会までお気軽にお問合せ下さい。



motosushi commerce and industry  
本巣市商工会



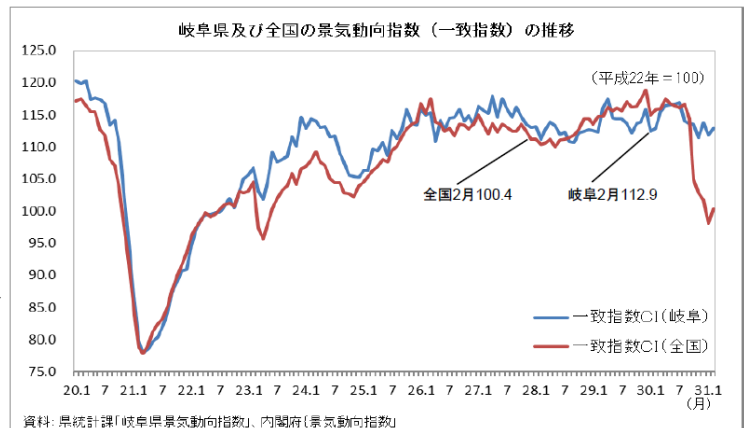
〒501-0406 岐阜県本巣市三橋 1101-6  
TEL. 058-323-1010 FAX. 058-323-1093  
<http://www.motosu.or.jp/>

## ① ギフ経済レポート（令和元年5月分）岐阜県商工労働部 令和元年6月7日作成より

【景況感】景気は、一部弱さも見られるが、穏やかな回復が続いている。

- 製造業：米中貿易摩擦の影響が顕在化
- 地場産業：厳しい状況が続いている
- 設備投資：落ち込みが長期化している
- 個人消費：家電大型販売店やドラッグストアが牽引
- 観光：宿泊客数は前年同月を上回ったが、観光客数は下回った
- 資金繰り：資金繰り環境に変化はないが、外部要因による影響が懸念される
- 雇用：人手不足の状態が慢性化している

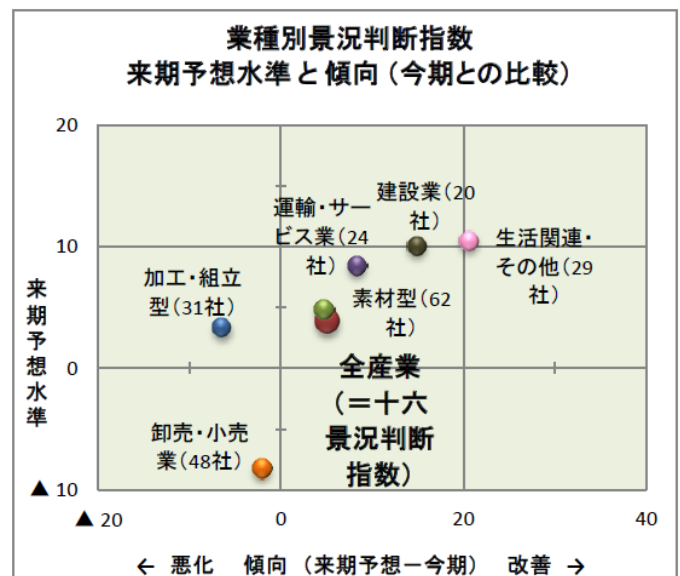
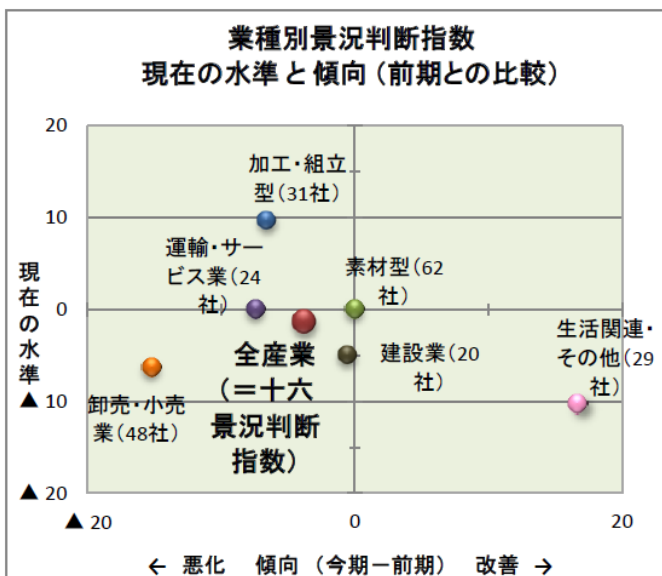
※<ポイント版>ぎふ経済レポート（令和元年5月分）より



## ② 第186回 東海地区企業動向調査（2019年1~3月期 十六景況判断指数 調査報告より）

- ① 十六景況判断指数は前期から低下し、マイナスに転じた。
- ② 来期は改善を見込む企業が多い。
- ③ 設備投資の目的は「合理化・省力化」が上昇。

調査対象 20 業種（鉱業除く）を 6 グループに分けて、景況判断指数の水準と傾向を示した。今期は、生活関連・そののみ改善した。来期は、加工・組立型と卸売・小売業以外が今期比改善する見通しである。



注)【製造業の分類】

素材型：木材・木製品、紙・紙加工品、化学工業、窯業・土石製品、鉄鋼・非鉄金属、刃物・金属製品、プラスチック・その他製造業

加工・組立型：一般機械器具、電気機械器具、輸送用機械器具

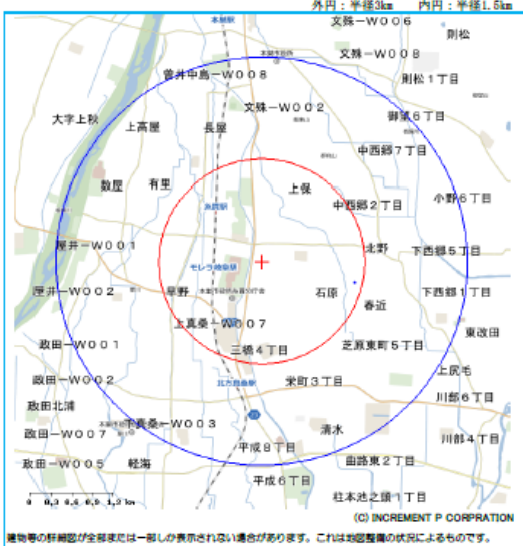
生活関連・その他：食料品、繊維工業、衣類その他繊維製品、家具・装備品、出版・印刷

「鉱業」は回答企業数が少なかったため、表示していない。

### ③ 本巣市マーケット分析 ～MieNa（ミーナ）市場情報評価ナビによる分析～

（株）日本統計センターが提供する「Miena's（ミーナ）」を使って、本巣市商工会の商圈（周囲3km圏）の分析を行ってみました。その結果は、本巣市内全域の平均値と比較すると、A～Eの5段階評価の「B」ランクとなりました。では、この地域の特徴を、レポートを使ってご紹介します。

本巣市三橋-W001の周囲3km圏マーケットプロフィール



★当該町丁は居住者・法人マーケットを総合した水準でみると **B** ランクです。

居住者マーケットとしての評価は→	規模	安定	富裕	流入	密集	成長	総合
	A	E	A	C	A	B	B
法人マーケットとしての評価は→	規模	安定	富裕	密集	成長	総合	
	A	B	C	A	B	B	

居住者マーケットの評価項目「安定：E」は、『持ち家世帯比率』が38.6%と本巣市平均の84.68%と比べて低いことによると考えられます。法人マーケットの「密集：A」とは、『民営事業所密度』が本巣市平均30所/k㎡の二倍近くの57所/k㎡となっており、大型商業施設の存在が大きいと考えられます。

#### マーケット指標比較

※商圈レポートマーケット分析編（周囲3km圏）抜粋

	住民基本台帳人口 (2017/人)	就業者数 (2015/人)	消費購買力 (2016/百万円)	平均年齢 (2015/歳)
岐阜県内 都市部全域	53,831	25,980	67,644	47.83
本巣市三橋	41,795	20,618	46,785	44.29
岐阜県内 郡部全域	30,041	14,680	35,098	48.26
本巣市内全域	21,770	10,870	24,413	49.67

#### マーケット購買力評価(本巣市三橋)

※本巣市内全域の平均値と比較したときの偏差値を使って評価

上位	指標名	偏差値
1位	家賃地代支出額	61.62
2位	幼児・小学校補修教育支出額	61.48
3位	冷暖房用器具購買力	61.39
3位	健康保持用摂取品購買力	61.39
5位	高校補習教育・予備校支出額	61.35

本巣市三橋は岐阜県内都市部全域の次の順位になる指標が多いなか、平均年齢は「44.29歳」です。日本の平均年齢48.9歳（H27年国勢調査より）と比較しても、低いことがわかります。購買力評価の教育費支出額では、ランク外ではあるものの「中学校補習教育支出額」は偏差値60.79と高く、補習教育支出額が多いことがわかります。

これらのデータから。。

**「比較的 経済活動が活発で、教育熱心なご家庭が多い地域?!」** というのがわかります。

『住民基本台帳人口』や『就業者数』、『消費購買力』等から、岐阜県内でも比較的経済活動が活発な地域の一つで、『平均年齢』は県内でも低い地域です。消費傾向は、本巣市内の平均値と比較すると『教育費支出額比率』が高く、特に、『幼児・小学生』『高校生・予備校』の支出額は多いといえます。また、塾などの『教育・学習支援業民営事業所比率』も本巣市内で比較的高い地域であり、教育関係の事業所が充実していることがわかります。

ここで商売をされる場合は、実態の現地調査や多方面からの検証が必要となりますが、チラシの配布の時などには、このようなマーケティング調査レポートを参考にしてはいかがでしょうか。

本巣市商工会では、無料でこのような情報提供を行っています。希望エリアの商圈レポート（マーケット分析 半径5km、3km、1km、500m）の提供も行っています。お気軽にお問い合わせください。